

東京都医師会の考える 「かかりつけ医」

2023年2月14日

東京都医師会定例記者会見

東京都医師会理事 土谷明男

かかりつけ医に関する最近の話題

- 日本医師会 2022年4月
 - ✓ 国民の信頼に応えるかかりつけ医として

- 財政制度等審議会財政制度分科会
 - ✓ 歴史の転換点における財政運営 2022年5月
 - ✓ 令和5年度予算の編成等に関する建議 2022年11月

- 社会保障審議会医療部会 2022年11月、12月
 - ✓ かかりつけ医機能が発揮される制度整備

- 全世代型社会保障構築会議報告書 2022年12月
 - ✓ かかりつけ医機能が発揮される制度整備

「かかりつけ医」 「かかりつけ医機能」

日医・四病協合同提言2013年8月

「かかりつけ医」とは（定義）

なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師。

「かかりつけ医機能」

- かかりつけ医は、日常行う診療においては、患者の生活背景を把握し、適切な診療及び保健指導を行い、自己の専門性を超えて診療や指導を行えない場合には、地域の医師、医療機関等と協力して解決策を提供する。
- かかりつけ医は、自己の診療時間外も患者にとって最善の医療が継続されるよう、地域の医師、医療機関等と必要な情報を共有し、お互いに協力して休日や夜間も患者に対応できる体制を構築する。
- かかりつけ医は、日常行う診療のほかに、地域住民との信頼関係を構築し、健康相談、健診・がん検診、母子保健、学校保健、産業保健、地域保健等の地域における医療を取り巻く社会的活動、行政活動に積極的に参加するとともに保健・介護・福祉関係者との連携を行う。また、地域の高齢者が少しでも長く地域で生活できるよう在宅医療を推進する。
- 患者や家族に対して、医療に関する適切かつわかりやすい情報の提供を行う。

東京都医師会の考えるかかりつけ医機能

- 日医・四病協合同提言 求められる機能・役割が列挙されている
- 一人の医師で機能すべてを担うのは非現実的
- 例えば24時間対応

TMA近未来医療会議

2040年に向けた医療供給体制と診療報酬体系の抜本的な改革

□ 第1クール 菅原琢磨座長（2022年1月～）

- ✓ 国家財政、医療経済、国民医療費と税制、財政審の建議・「骨太の方針」に向けた考え方・提言

□ 第2クール 香取照幸座長（2022年5月～）

- ✓ 2040年に向けた地域医療提供体制 → 「かかりつけ医」について議論

□ 第3クール 和田耕治座長（2022年9月～）

- ✓ 東京都の近未来の医療提供体制 新型コロナウイルスのパンデミック対応から明らかになった課題を考える

□ 第4クール 堀真奈美座長（2023年1月～）

- ✓ 供給体制と両輪としての医療保険＋介護保険のあり方（東京に焦点を当てて）

東京都医師会の考える
「かかりつけ医」
「かかりつけ医機能」

東京都医師会の考えるかかりつけ医機能

都市型医療の中での実現可能なかかりつけ医機能

- 各診療科の専門性を活かし、グループとして診療
 - ✓ 各医会との連携
- 地区医師会の地域包括ケアシステム（中学校区の範囲）内での連携
 - ✓ 24時間体制（新型コロナウイルス対応からの発展）
 - ✓ 地区ごと 往診専門 大規模在宅医療 中小病院
 - ✓ 健康管理

東京都医師会の考えるかかりつけ医機能

地域医療人材育成事業

□ 専門診療と地域医療の橋渡し

✓ 在宅療養 介護連携 医療制度 医師会活動

□ 地域の病院に勤務しながら地域の状況を知る

✓ 研修（講義やオンデマンド配信）

✓ 実地（都内中小病院）

東京都医師会の考える
「かかりつけ医」

□ 都市型医療の中での
「かかりつけ医」を提案します

- ✓ 地域内での各診療科連携の推進
- ✓ 地域医療人材育成事業